

麻酔科における救急研修（必修選択）

1. 特徴

麻酔管理を通して手術を安全に受けられるように全身管理を学ぶ。

2. ねらい

- 1) 麻酔管理を通じて、呼吸、循環、代謝を相当した全身管理の基本的能力を修得する。
- 2) 全身管理における各種モニターの意義を理解し、迅速かつ的確に病態を把握する

3. 一般目標

- 1) 術前診察により患者の全身状態、病歴を把握する。
- 2) マスクによる気道確保、下顎保持を習得する。
- 3) 気管チューブまたはラリンジアルマスクを用いて確実に気道確保ができる。
- 4) 静脈確保、動脈ライン確保が確実にできる。
- 5) 体液バランスを理解し、輸液、輸血、循環作動薬の適応を説明できる。
- 6) 急性期の輸液・輸血療法、並びに血行動態管理法について概説できる。
- 7) 心電図モニターにより危険な不整脈を診断し、抗不整脈薬を選択できる。
- 8) 酸素飽和度、血液ガス、呼気終末炭酸ガスの数値について説明できる。

4. 研修方略

指導医と研修医がマンツーマンで全身麻酔を担当する。手術予定患者の術前回診を行い、麻酔に関するリスクを判断し、指導医に報告、相談する。手術当日朝には患者のプレゼンテーションを行い、具体的な麻酔計画を説明する。術中の麻酔管理の基本的な計画を理解し、バイタル変化の意義を把握すると同時に対応すべき事象について研修する。術後鎮痛への認識を深める。

麻酔管理に必要な末梢血・生化学・凝固系検査、動脈血ガス分析、胸部等のレントゲン読影、心電図・呼吸機能・心エコー等の判読を研修する。手技として、静脈確保、気管挿管、胃管挿入、動脈ライン確保、中心静脈確保、各種麻酔器の使用法を指導医のもとで研修する。

5. 週間スケジュール

科	月	火	水	木	金	土
麻酔科	カソファラス手術室	医局会・抄読会 カソファラス手術室	カソファラス手術室	カソファラス手術室	カソファラス手術室	カソファラス手術室
	手術室 回診	手術室 回診	手術室 回診	手術室 回診	手術室 回診	

6. 研修評価

- 1) 自己評価：EPOC2 を用いて自己評価を行う
(症候、疾病・病態の経験についてはEPOC2にて確認を行う)
- 2) 指導医による評価：EPOC2 を用いて研修医を評価する
(症候、疾病・病態の経験についてはEPOC2にて確認を行う)
- 3) 研修医による研修体制評価：EPOC2 を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

7. 指導体制

指導責任者 板橋 俊雄

指導医 富野 美紀子

高橋 奈々恵

前田 亮二

大嶽 宏明

奥山 亮介

藤田 陽介

赤尾 慶二